

私たちからあなたへ

No.18

平成24年1月 発行

# ふきのとう

特集

## 行事& クラブ活動



社会福祉法人 相双記念会  
障害者支援施設  
**ふきのとう苑**  
福島県相馬市富沢字松道 19  
TEL 0244-35-3090  
FAX 0244-35-1171  
MAIL: info@fukinotouen.jp  
編集責任者 広報委員会



### 「ふきのとう苑」の絆

施設長 木口 幸雄

平成二十三年十一月一日付  
で施設長を拝命しました木口  
幸雄です。昨年は、三月十一  
日に起きた「東日本大震災」  
というとてもない災害に直  
面し、利用者様の一時避難・  
施設の破損等、先の見えない  
毎日でした。

新年を迎え、ふきのとう苑  
の現状はというと、利用者様  
は震災以前の生活状態にほぼ  
回復していると言えると思ひ  
ます。これもひとえに、経営  
母体の法人「相双記念会」を  
はじめ、ふきのとう苑全職員  
の復旧に向けた努力の賜物と  
感じています。併せて、利用  
者様家族の皆様のご理解とご  
協力のおかげで、現在までの  
回復に至ったことに対しまし  
て、衷心より感謝申し上げます。  
ここに至るまで、ふきの  
とう苑への関係各位の皆様  
の「絆」の強さが、どれほどの  
パワーとして現れたか、人間の  
素晴らしさをあらためて感  
じさせられました。

さて、施設長として、平成

二十四年の目標を次のように  
掲げました。

○運営スローガン

「共生（きょうせい）と共育  
（きょういく）」

利用者様、家族、職員が共  
に生活することと共に教  
えあい育つ（成長すること）

○施設運営の基本方針

一、利用者様中心の介護・介  
助

二、コミュニケーションの充  
実

三、福祉サービスの質の向上

四、職員研修の充実

利用者様のニーズに応える  
ために、職員のサービスの質  
の向上と利用者様（ご家族）  
と職員及び職員間のコミュニ  
ケーション（信頼関係）の構  
築をすること

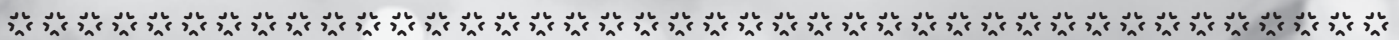
以上、今年の目標として掲  
げ、全職員が利用者様（ご家  
族）と安全で、安心できる、  
そして一日でも多く楽しい生  
活が出来るよう頑張ってい  
きたいと思ひます。

# もちつき大会

皆でついたおもちを  
食べました。



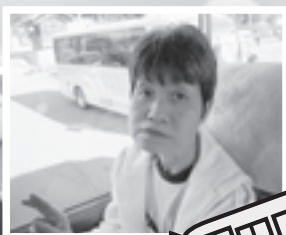
## つきたておもち 最高〜!



## エアリへ行って来たよ〜!!

# 外出支援

イエーイ



ショッピング♪



バスの中



クリスマスツリーの前で

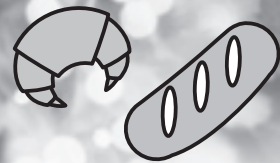


おいしい♡





# 運動会



上手でしょ



\*\*\*\*\*

♡ サンタさんからプレゼント ♡

何かな？

クリスマス会を盛り上げて  
いただきました。



# クリスマス会



東西南北

家族会

外出支援に親子で

参加しました

初めての旅行で、やはり一番の楽しみは昼食です。充宏のリクエストでピザとスパゲティをゆつくり味わいました。店の中を回って、買い物をしたり、アイスクリームを食べたり、まだまだ回りきれないほどのお店で、一日があつという間でした。

不安もありましたが、職員の方の気遣いと、手際の良い介助に、本当に感謝です。

楽しい一日を過ごさせて頂き、ありがとうございます。ごさいまし。

吉田充宏母



社会福祉法人相双記念会  
理事・評議員改選結果報告

平成23年9月6日第2回理事・監事・評議員会において役員改選が行われましたのでご報告いたします。この度ご退任された方にかれましては、当法人及びふきのとう苑の事業運営にご尽力されたことに厚く御礼申し上げます。また、新たに就任されました役員各位には、これからの2年間、法人並びに施設の運営に対してご支援とご協力をお願い致します。

- 理事・監事・評議員  
理事・評議員 宮田弘幸 (再任・理事長)
- 理事 藤田仁一 (再任)
- 理事 門馬秀夫 (再任)
- 理事・評議員 中島久明 (再任)
- 理事 木口幸雄 (新任・施設長)
- 理事・評議員 平山多美子 (再任・事務長)
- 監事 前田秀樹 (再任)
- 監事 佐藤一久 (再任)
- 評議員 今村隆光 (再任)
- 評議員 佐々木一秀 (再任)
- 評議員 松永雄一 (再任)
- 評議員 但野正博 (再任)
- 評議員 奥野祐一 (再任)
- 評議員 渡部利昭 (再任)
- 評議員 今村モト (新任)
- 評議員 阿部正明 (新任)
- 評議員 本田敬子 (再任)
- 評議員 小林澄雄 (新任)

新職員紹介 NEW STAFF INTRODUCTION

■本部長 小林 澄雄



初めまして、昨年の7月から当苑の事務職員として勤務しております小林と申します。介護の職場は初めてなので先輩職員の教えを頂きながらなんとか努めていたおかげです。時には利用者様からの暖かい言葉やお叱り、いや激励の言葉と言った良い思い出が、これも人と人の繋がりが、例えば東日本大震災後に叫ばれている「絆」を、身をもって体験し、日々を自分なりに精いっぱい過ごしております。

還暦を過ぎた私が、介護という施設の中で何が出来るかと自問自答している時間は無いと思ひ、できるだけ利用者との関わりを大事にして一つひとつ前に進むことだけを考へて、利用者のため、苑のためにと職務に邁進して行きますので何卒よろしくお願ひします。

■事務部 紺野友美枝



六月下旬に入職しました紺野です。当初の驚きは職員数と利用者様の多さでした。年と共に覚えが悪くなってきた脳をフルに活用して名前と顔を合致できるようにがんばらなければ...という思いでいっぱいでした。それと、施

■介護部 鈴木 千草



ふきのとう苑に勤めて一ヶ月がたちました。介護職は初めてで、業務になかなか慣れなく利用者の皆様とのコミュニケーションも、うまく取れず悩んでいました。先輩職員の方々が優しく、丁寧な指導をしてくださり、何とか業務についていけるよう日々努力しています。早く介護の仕事覚えて先輩職員の方々とともに、利用者の方々に役立てるよう頑張りたいと思ひます。不慣れで迷惑おかけすることがありますが、これからもよろしくお願ひ致します。





サービス管理責任者から

瀬庭由美子

「サービス管理責任者」は、サービスを管理する人、という意味ではありません。「サービス管理責任者」という職種であり、平たく言えば、「個別支援計画書を作成し、管理する人」ということになるでしょうか。

では、個別支援計画書とは何なのでしょいか。本来、個別支援計画書は、利用者様のやりたいこと、こうしたいという希望を実施するためにどう支援していくか、という事を考え、具体化するための計画書です。でも実際は、職員側のこうなっしてほしい、こうしてほしい、という都合に合わせた計画書になりがちです。

長く施設に入所していると、いろんなことをあきらめたり、出来ないと思います。でも少しづつでも、あきらめなくてもすむように、希望が実現できるように、作成していきたいと思えます。

こんにちは 給食室です



昨年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

一月十一日(水)に、施設で餅つきが行われました。利用者様も杵を手持って職員と一緒に餅をつき、できあがったお餅はその日の昼食時にいただきました。

メニューは、お雑煮、あんこ餅、きなこ餅、なめこおろし和え、白菜の漬物、みかんの六品です。

つきたてのお餅はとても美味しかったようで、おかわりをされる方や、苦手なきなこが食べられないようになったという方もいらっしゃいました。何より、心配していたお餅による事故がなかったことが一番だと思えます。そのような事故に十分気を付けながら、行事食を楽しみたいですね。



まだもち米の状態です



きなこ餅を作っています



がんばりました！

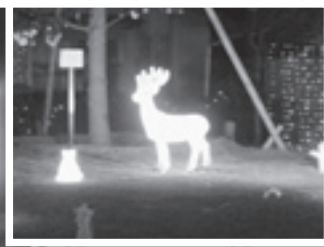


一緒に食べると  
おいしいですね



# イルミネーションツアー

初の夜の外出をしました。  
車の中からのイルミネーションでしたが、みんな感激しましたよ。



# 新年会



カラオケ審査員 ^\_^

# ボランティア



ハーモニカ愛好会の皆さん



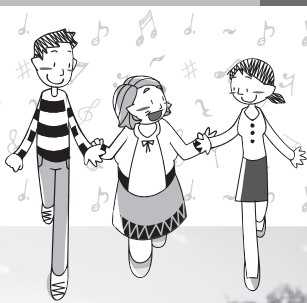
鬼のパンツをおどりました。



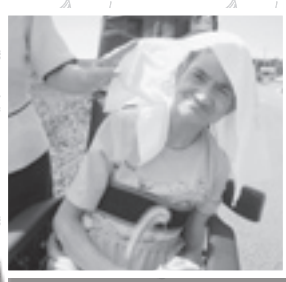
みんないっしょにうたいました。ハーモニカに合わせて。



# 散歩



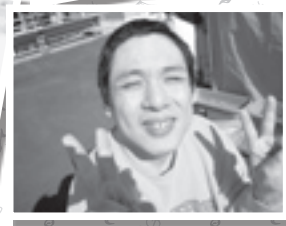
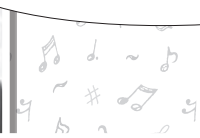
外は  
気持ちいいね



# いも煮会



おいしかったよ



# レッツダンス

ドキドキ  
ワクワク





# お誕生日おめでとうございます。

## 9月生まれ



## 10月生まれ



## 11月生まれ



## 1月生まれ



## 12月生まれ



ありがとうございました

★福島県理容生活衛生同業組合  
相馬支部様

★大橋屋様

★利用者様ご家族（果物・野菜等）

★株式会社CDG様をはじめとし多くの支援物資提供頂いた皆様

### ボランティア募集

ふきのとう苑ではボランティア活動をしてくださる方を募集中です。

#### ★活動内容(例)

- ホール・浴室等の清掃
- 読み聞かせ・お話し相手
- シーツ交換
- 洗濯物たたみ
- イベントスタッフ
- 音楽演奏

お申し込み・お問い合わせはボランティア担当までお気軽にご連絡ください。

### あとかぎ

新しい年がスタートしました。昨年は、3月11日の東日本大震災で利用者様の避難などがあり、本当に時間の過ぎるのがあっという間でした。

また、自然や原発の恐ろしさが身にしみたりしてありました。しかし、多くの人たちの励ましや支援など、人の温かさを感じることができた1年でもありました。

今年は、被災した地域の復旧復興や放射能汚染の除去が進み、明るさが見えてくる年になればと心から願っています。  
(佐藤)